

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に見られた課題

第2学年

マスター問題集 中1⑨

1

正答率 35.2%
無解答率 1.5%

問1(5)
【単語の類別】
名詞や助動詞を用
言として選んだ誤
答が目立ちました。

チャレンジ
確認シート
H27A⑨4

- 4 1 形容詞
- 5 2 名詞
- 6 3 動詞

(5) 次の1〜6の中から、「用言」を三つ選び、その番号を書きなさい。

正答率 13.2%
無解答率 7.2%

問1(4)
【付属語】
付属語ではなく、自
立語を抜き出した誤
答や、「きれいだ」の
「だ」を付属語として
記述した誤答が目立
ちました。

(4) 次の□の文について、付属語をすべて抜き出して書きなさい。



家の庭に咲く赤い花は、とてもきれいだ。

文法指導の課題解決に向けて

中学校では、右にある小学校での既習事項をもとに、「文節・単語」「文の成分」「品詞」「活用」と学習を進めていきます。文法に関する用語をたくさん学習しますが、それぞれの用語が指す内容をきちんと把握させる必要があります。また、機会を捉えて文法を復習したり、「読むこと」や「書くこと」の指導の際に文法事項を取り上げたりするなど、定着を図る学習活動を取り入れることが大切です。これらの口語文法の学習は、高等学校での古典の学習につながります。

第1学年

1 (4)

正答率 40.8%
無解答率 1.9%

問1(4)
【文の構成】
主語の抜き出しを
間違えている誤答
が目立ちました。
＜誤答例＞
図書館へ・先生の
先生の話を・急い
で

ポイント

主語は、「何・誰は(が)」という言葉があてはまること、述語は、動き「どうした」や様子「どんなだ」、性質「何だ」を表す言葉であるといった基本的事項や、主語と述語の照応関係についての指導が必要です。文章の中から主語や述語を抜き出す等の学習活動を取り入れましょう。

先生の話を聞いた花子も図書館へと急いで出かけた。

次の□の文から、主語と述語をそれぞれ抜き出して書きなさい。

「話すこと・聞くこと」に見られた課題

第1学年

2

チャレンジ
確認シート
H27A⑧1・2
H26A①2

正答率 46.8%
無解答率 0.2%

問2(1)【聞くこと】
解答の選択肢と本
文をしっかりと照ら
し合わせられていな
い、問題文を適切
に読み取れていな
い誤答が見られま
した。

ポイント

聞き方については、相手の話の目的や意図を捉えながら内容を十分に聞き取ることができるよう指導していくことが重要です。話のテーマやそのテーマを設定した理由、話し手の意見や話し手がそう考えた理由に対し、自分の考えを持つように指導しましょう。



- (1) 田中さんの心の声から、田中さんがどのような聞き方をしていることが分かりますか。その説明として当はまらないものを、次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。
- 1 話し手の考えをいい意見だと認めながら聞いている。
 - 2 自分の考えと話し手の考えを整理しながら聞いている。
 - 3 意見を言うために自分の考えをまとめながら聞いている。
 - 4 話し手の考えが本当に正しいかと考えながら聞いている。

きのくに中学校生徒会では、レクリエーション大会に向けて話し合っています。次の文章は、生徒会の話し合いの一部と、話し合いに参加した田中さんの心の声です。これを読んで、あとの(1)、(2)に答えなさい。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に見られた課題

第2学年

第1学年

1

チャレンジ確認シート
H29A⑨1 H28A⑨1
H27A⑨1 H26A⑧1
H25A⑧1 H25B③3
H24A⑦1

正答率 39.1%
無解答率 23.1%

問1(3)【熟語】
「検当」など、「けん」と読める漢字と「とう」と読める漢字を適当に組み合わせた誤答が見られました。

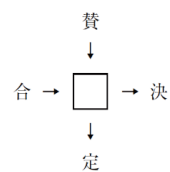
ポイント

どちらの問題も語彙に関わるものです。同音・同訓異字については、それぞれの意味と漢字を結び付けながら学習することが大切です。語彙を増やすために、辞書の活用を積極的に取り入れるとともに、表現活動において、出会った語彙を実際に使用する機会をつくり、定着を図りましょう。



① 文化祭の内容をケントウしよう。

(2) 次の①、②の文中の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書で丁寧に書きなさい。



正答率 20.8%
無解答率 7.9%

問1(3)【熟語】
誤答は「成」が多く、他に「格」「確」「説」といった誤答が見られました。

(3) 次の□に漢字を一字入れ、矢印の向きに読むと、二字の熟語が四つできます。□に当てはまる漢字を書きなさい。

マスター問題集
6年③

「読むこと」に見られた課題

マスター問題集1年⑪・⑫

第1学年

正答率 19.1%
無解答率 14.4%

問3(5)

【文章の特徴】誤答例

「岳はまたしばらく黙り込み、それからしゃべりながら自分の言葉を確かめているという工夫。」

→設問の趣旨が読み取れていない、または表現の工夫を文中の叙述から探している誤答が目立ちました。

チャレンジ確認シート

H29 B①③
H28 B②①

ポイント

「読むこと」の指導については、生徒に書き手の視点を持たせることが大切です。叙述から登場人物の心情を問うだけではなく、その叙述に対して、書き手がどのような効果を狙って、どのように表現を工夫しているかについて、普段から正確に把握、理解させるような指導を行いましょう。また、学習した表現の工夫を自分の表現に生かす活動を行うことで、より書き手の視点を持たせることができます。



正答率 22.5%
無解答率 5.1%

問1(3)

【文章の解釈】

<誤答例>

「とつぜんお…は嫌なんだ」

ポイント

「こういうふうに頭を刈られる」を具体的に言いかえた部分を探す設問であり、傍線部Aの直後にある「～のは嫌なんだ」という言葉に続く形で探す必要があります。抜き出す部分を設問や本文と照らし合わせて確認するよう指導する必要があります。

(4)

——線部「A」
これを具体的に言いかえた部分を探し、最初と最後の五字を抜き出して書きなさい。(句読点も一字と数える。)

正答率 28.8%
無解答率 14.2%

問3(3)

【文章の解釈】

・「文章中から抜き出して書きなさい」という指示を読み取れていない。

・「私はそこで本当に」に続く形の言葉を探せていない。

ポイント

岳と私のやりとりの描写から、場面の展開に即して変化する私の心情の流れを読み取る必要があります。

(3) Y
文章中から抜き出して書きなさい。

3

次の文章を読んで、あとの(1)～(7)に答えなさい。

チャレンジ確認シート H28B③① H26A③①



「読むこと」に見られた課題

マスター問題集2年⑧・⑭・⑮・⑯

第2学年

チャレンジ確認シート H26A③③ H25 A②・B①② H24B②③

問3(4)

【文章の解釈】

<誤答例>

・理想の姿
→理想の姿を実現した(=成果)背後に何があるかという問いであることが読み取れていない。

・その技術
→指示語を解答に入れている。

正答率 37.6%
無解答率 14.9%

(4) 「X」に当てはまる言葉を、文章中から四字で抜き出して書きなさい。

問3(3)①②【文章の解釈】

<誤答例>

① 「ゆがみなくまん丸く大きく開く」または「いっせいに変色し、いっせいに消える」のどちらかのみを解答している。

・「同じく5段落を見ると」という山下さんの言葉が読み取れず、5段落以外の内容をまとめて説明している。

② ・12段落を選択した誤答が多く見られた。
→「現在の花火大会」について書かれた段落である。

② 「イ」に当てはまる段落番号を数字で書きなさい。

① 「イ」に当てはまる段落番号を数字で書きなさい。
ア 一には、花火師が理想とする花火の姿についてまとめた言葉が入ります。「……花火」につながるように、四十五字以内で説明しなさい。(句読点も一字と数える。)



(3) ——線部「B」理想とする花火の姿」について、田中さんと山下さんが話し合っています。次の「田中さん」と山下さんの会話を読んで、あとの①、②に答えなさい。

田中 文章中に、「B 理想とする花火の姿」って書いているけれど、筆者は、どんな花火を理想としているのかな。

山下 ⑤に「芯物の場合は、芯の部分全体ができるだけ丸く大きく、その中心が一点に合わる」と書いているわ。

田中 じゃあ花火全般の理想の姿はどのようなのかな。

山下 同じく⑤を見ると、「ア」
花火が理想のようね。「B 理想とする花火の姿」について具体的に書かれた段落は、どこまでかしら。

田中 「イ」段落までだと思うよ。

① 正答率 47.7% 無解答率 11.5%
② 正答率 45.1% 無解答率 3.9%

国語科の授業改善に向けて



- ★「話すこと・聞くこと」「書くこと」の指導では相手視点を、「読むこと」の指導では書き手視点を持たせる学習活動を設定しましょう。
- ★学習活動で得た知識は、具体的な場面や状況を想定した上で、考えたり使ったりする学習活動を行い、定着を図りましょう。
- ★単元終了時の生徒の姿をしっかりと持ち、付けたい力を明確に習得させるための単元構想を行いましょう。何を指導し、そのためにどのような展開で授業を行うのか、単元終了時の生徒の姿から遡って単元構想することが重要です。こうすることで、必然性のある問題解決的な学習を授業の中に取り入れられます。また、指導者も目的を明確に持って授業を行うことができます。

ポイント

文章のどこを見て、どのようなことを答えればよいか、どのような答え方をすればよいか、設問から様々なヒントを読み取る練習をさせましょう。また、筆者の主張や要旨を読み取るために、構成に着目させる必要があります。問題提起と答え、具体例等を踏まえながら、各段落が文章全体で果たす役割について考えさせましょう。ここで身に付いた力は、書く力にもつながります。